

沖縄の音楽

教科	芸術	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 2・3 年次	必修・選択	選択（学校設定科目）
使用教材・副教材	やさしい三線教室（沖縄県三線教育研究会出版）他工工四、鑑賞教材等		

1. 目標

三線や沖縄の音楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 三線に触れてみよう	勘所表 音階等 教本「やさしい三線教室」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の心得、マナーの確認。 ・三線の仕組みについて知り、基本的な勘所の押さえ方、工工四の読み方について学ぶ。基礎・的な用語を学び、今後の授業への導入とする。 ・童謡などを用いて勘所の押さえ方を学ぶ。
5	正しい奏法で簡単な曲を弾いてみよう 沖縄民謡に挑戦	基礎トレ曲 ドレミの歌 かえるの歌 むすんでひらいて ていんさぐぬ花	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢と奏法を心がけて、演奏することに集中する。 ・勘所の位置を目と指で確認しながら演奏。 ・歌いながら演奏する。 *実技テスト実施
6	簡単な古典音楽・民謡に挑戦	渡りザウ 安波節	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な曲からはじめ、沖縄民謡を弾く。 ・歌いながら演奏する。 *実技テストを実施
7		安里屋ユンタ 秋の踊り	<ul style="list-style-type: none"> ・歌・三線のレパートリーを増やし、体と感覚で覚える。
9	ポピュラー音楽を演奏しよう	島唄 涙そうそう	<ul style="list-style-type: none"> ・工工四を自分で読み進めながら練習に取り組む。 ・音の響きの美しさを追求し、表現力を高める。
10		島人の宝 三線の花	<ul style="list-style-type: none"> ・掛音、打音の奏法を学ぶ。 ・人前で演奏し表現力を高める。
11	三線応用： 早弾きに挑戦	ハイサイおじさん	<ul style="list-style-type: none"> ・早弾きに挑戦する。
12	三線応用： 古典に挑戦	かぎやで風 滝落管攪	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の難曲に挑戦し技術を高める。 ・ポジション移動時の弾き方を学ぶ。
1			

2	箏に挑戦しよう 組踊りを知ろう	さくらさくら 執心鐘入	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の基本的な奏法を学ぶ。 ・組踊り鑑賞を通して郷土音楽の理解を深める。
3	発表会 1年間のまとめ	各自の自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・自由曲を発表する。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は以下の3つの観点から行い、学習の取り組み状況、課題進捗状況、学習プリント、定期考査、実技テストなどを総合的に判断して評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身につけている。 ・曲想と音楽の構造を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。 ・作品のよさや美しさを味わいながら表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・感性を高め、沖縄の音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。

音楽 I

教科	芸術	単位数	2単位
学科・年次	全科 1年次	必修・選択	選択必修
使用教材・副教材	Tutti + (教育出版)		

1. 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、障害にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	声を出して 楽しく歌おう	校歌 スマイル 翼を下さい	授業の心得・オリエンテーション。 校歌をしっかり覚えて歌う。 歌詞の意味を考えながら歌う。
5	さまざまなジャンルの音楽を楽しもう	上を向いて歩こう ひまわりの約束	さまざまなジャンルの音楽を楽しんで歌う。
6	鍵盤楽器に挑戦しよう 西洋音楽史を学ぼう	エーデルワイス 他 バロック時代の楽曲	鍵盤楽器の基本奏法を学習する。 西洋音楽史について理解する。
7	合唱する喜びを味わおう	君を忘れない Oh happy day	合唱のための技能を身につけさせるとともに主体的な音楽表現の喜びを味わわせる
9	器楽に親しもう	星に願いを 他	楽器の基本奏法を学習し、演奏する。
10	アンサンブルに親しもう	ラ・カンパルンタ 他	合奏による豊かな表現を目指し、表現意図を持って器楽アンサンブルをする。
11	クラスコンサートに取り組もう	各グループの選曲による曲	これまでの音楽活動を踏まえグループ活動を通して協力し合い合奏する。
12	発表を通して表現力と鑑賞力を身につけよう	各グループによる発表コンサート	自分たちの音楽表現を発表するとともに、他のグループの演奏を鑑賞し、音楽活動の楽しさを味わう。
1	日本の音楽 世界の諸民族の音	韓国の音楽 中国の音楽 他	諸民族の美意識や音に対する共通点や相違点などを理解し、いろいろな音階を学習する。

	楽		
2	合唱する喜びを味わおう	大地讃頌 他	音や音色に気をつけ、他の声部をよく聴いて表現する。
3	1年間のまとめ	レポート	これまでの学習の成果を発表する。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は以下の3つの観点をそれぞれA、B、Cの3段階で評価し、総括的に判断して5段階評価とする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育もうとしている。 ・感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実技テスト <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の状況・様子 ・ワークシート ・レポート作成 ・発表 ・実技テスト <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組む態度 ・活動の状況・様子 ・ワークシート <p style="text-align: right;">など</p>

音楽Ⅱ

教科	芸術	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 2 年次	必修・選択	選択
使用教材・副教材	Tutti+ 2 (教育出版)		

1. 目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習計画

月	題材名	題材名	学習活動
4	クラスの歌声を響かせよう① ヴァイオリン①	「Pretender」「見上げてごらん夜の星を」 他 「きらきら星」他	・発声方法について学び、伸びのある声で歌う。 ・譜面に出てくる反復記号や強弱記号等を復習する。 ・基礎的な構え方や奏法を学び、演奏する楽しさを味わう。
5	クラスの歌声を響かせよう② ヴァイオリン②	「Tomorrow」「島唄」他 「喜びの歌」他	・反復記号を理解し演奏する。 ・曲想やジャンルに応じた声質考えながら歌う。 ・音名や音符の復習をする。
6	三線①	「島唄」「ていんさぐぬ花」「谷茶節」他	・工工四の読み方や基本的奏法を復習する。 ・ポジション替えの練習する。 ・速弾きに挑戦する。
7	三線② パートの役割を意識して合唱しよう	各自で選択した楽曲 「大きな古時計」	・人前で最後まで一人で演奏することを目指し練習する。 ・音の重なりを味わいながら歌う。
9	ギター① 日本歌曲を歌おう	「子守歌」「Happy Birthday」「第三の男」他 「からたちの花」「里の秋」他	・ギターの奏法や基礎知識の復習をする。 ・旋律やコードで楽曲を演奏する。 ・日本語の語感を大切にし、詩を味わいながら歌う。

10	ギター② 外国の歌曲を歌おう	「第三の男」 「Cavatina」他 「歌の翼に」「アヴェ・マリア」他	・アンサンブルで演奏する。 ・外国の言葉の発音でゆたかな響きで歌う。
11	西洋の作品を鑑賞しよう 変奏曲をつくろう	交響曲「田園」他 「どじょっこ ふなっこ」	・西洋音楽史の流れを学びながら楽曲を味わう。 ・音楽を形づくっている要素を操作し、イメージをもって変奏曲をつくる。
12	オペラを鑑賞しよう クリスマスコンサートをしよう	「トゥーランドット」 「きよしこの夜」「もろ人こぞりて」他	・オペラの成り立ちや特徴、登場人物の心情の変化を理解し作品を鑑賞する。 ・アンサンブルをする。人前で演奏することを前提に練習を進める。
1	日本の伝統芸能を鑑賞しよう 音階から音楽をつくろう	歌舞伎「勸進帳」 琉球音階、都節音階、長音階、短音階他	・歌舞伎の成り立ちや特徴を理解し、代表作品を（一部）鑑賞する。 ・音階を選んで4小節目程度の旋律を作る。
2	世界の諸民族の音楽を鑑賞しよう クラスコンサートに取り組もう①	「ケチャ」「フラメンコ」他 各グループの選択した楽曲	・調べ学習を通して、音楽と身体の動きによる表現の特徴を感じとり、文化・風土・生活様式等にも目を向ける。 ・個人又はグループで適当な難易度の楽曲を選定し、楽器の練習をする。
3	クラスコンサートに取り組もう②	各グループの選択した楽曲	グループ別に発表し、互いに鑑賞する。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は以下の3つの観点をそれぞれA、B、Cの3段階で評価し、総括的に判断して5段階評価とする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。【技能】	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育もうとしている。 ・感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。
評価方法	・定期考査 ・ワークシート ・実技テスト など	・活動の状況・様子 ・ワークシート ・レポート作成 ・発表 ・実技テスト など	・課題に取り組む態度 ・活動の状況・様子 ・ワークシート など

音楽Ⅲ

教科	芸術	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 3 年次	必修・選択	選択
使用教材・副教材	Joy of Music（教育芸術社）他		

1. 学習目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てると共に、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4 ～ 5	幅広い音楽表現を求めて 声の探求①	時代 春よ、来い Winding Road 他	・歌詞の意味を理解し、表現の意図を持って、創造的に歌う。 ・詩の心を大切にしながら、のびのび豊かな表現で歌う。
6 ～ 7	個性豊かな音楽表現を求めて 声の探求②	We are the Champions 草原情歌 黒い瞳 他	リズムとハーモニーの練習。 英語の歌の発音を明瞭に歌う。 外国の民謡に親しむ。
9	創造的な表現をしよう	ファンファーレ曲	ファンファーレの役割と効果を理解する。 互いの作品の発表・意見交換を行う。
10	ミュージカルと映画音楽の世界	オペラ座の怪人 Joyful Joyful	楽曲にふさわしい表現内容を、深く理解する。 鑑賞を通して音楽とストーリーの一体性や場面にふさわしい表現内容を理解する。
11 12	クラスコンサートで自分の音楽を伝えよう	各グループ選曲	今までの音楽体験を活かして、曲に相応しい表現を工夫する。他のグループ演奏を鑑賞し、他人の良いところを見つけ発表する。 表現領域の最終発表の場としてのコンサートを生徒自身の手で企画・実施する。
1 2	卒業の歌の練習 三年間のまとめ	三学年会で選曲された曲 既習曲	卒業の歌を練習しながら、三年間を振り返る。自分たちの卒業にふさわしい曲を選択して歌う。

2		各グループの選んだテーマのレポート	三年間の音楽活動の集大成としてレポートにまとめる。 レポート発表しお互いの良いところを発表し合う。相互評価する。
---	--	-------------------	---

3. 評価の観点及び評価方法

評価は4つの観点から行い、学習への取り組み、課題進捗状況、学習プリントの整理・記録、定期考査、実技テスト、授業態度等を総合的に判断して評価する。

関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に音楽活動をしようとする。 ・音楽の構成等に関心を持ち、それらを生かして意欲的に創作をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしている。 ・音楽の諸要素を知覚し、それらが生み出す表情の変化を感じ取って、創作を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもって創作する技能を身につけている。 ・創造的な表現をするための技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術を幅広く理解し、多様な音楽や音楽文化の美しさを深く味わって鑑賞する。 ・楽器の特性と表現効果を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じることができる。

音楽史

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 2～3 年次	必修・選択	選択
使用教材・副教材	音楽の鑑賞資料と基礎学習（教育芸術社）		

1. 学習目標

西洋音楽史の古代から現代までを中心に、様々な音楽の誕生と発展、変遷をたどる。また、各時代における代表的な作品を取り上げ器楽演奏や歌唱等の実践的活動を行うことで、楽しみながら音楽文化への理解を深める。

2. 学習計画

月	題材・時代区分	□鑑賞 ○実技	学習活動
4	・ 導入	人類の進化図 音楽の発生論 トルコの音楽	・ オリエンテーション。 ・ 作曲家に関するクイズ。 ・ 身近なクラシック曲探し。
5	・ 古代	□○世界最古のメロディ □古代ローマの映画(抜粋)	・ 音楽の始まりについて考える。 ・ 古代ギリシャ、古代ローマ、インド、中国における楽器の誕生や発達について学ぶ。
6	・ 中世	□○グレゴリオ聖歌 □○賛美歌	・ ドレミファソラシドの誕生や、楽譜（文字→ネウマ楽譜→五線譜）の歴史を辿る。 ・ 5～9 世紀までの単音による音楽の時期と、10 世紀から 16 世紀の重音による音楽の時期の特徴を学ぶ。 ・ ルネッサンスの音楽の特色を学ぶ。 ・ 曲想を自分の言葉で表現する。
	・ バロック	□○ヴィヴァルディ 「四季」 □○J.S.バッハ 「G 線上のアリア」 ※キーボード使用	・ オペラの発達について学ぶ。 ・ 器楽（ハープシコード、クラヴィコード等）の発達について学ぶ。 ・ バロック時代の音楽家について学ぶ。 ・ 曲想を自分の言葉で表現する。
7	・ 古典派	□ハイドンの楽曲 □モーツァルトの楽曲 □ベートーベンの楽曲 □漫画「のだめカンタービレ」(抜粋)	・ 多声音楽と和声音楽の違いを知る（クイズ）。 ・ ソナタ形式について学ぶ。 ・ それぞれの作曲家の曲の特徴を学ぶ。 ・ 曲想を自分の言葉で表現する。
9 10	・ ロマン派	□メンデルスゾーンの楽曲 □シューマンの楽曲	・ 標題音楽の増加、交響詩の誕生、国民楽派について学ぶ。

		<input type="checkbox"/> ショパンの楽曲 <input type="checkbox"/> リストの楽曲 <input type="checkbox"/> ワーグナーの楽曲 <input type="checkbox"/> チャイコフスキーの楽曲 <input type="checkbox"/> ブラームスの楽曲 <input type="checkbox"/> 漫画「のだめカンタービレ」(抜粋) ※新聞作成シート使用	・好きな作曲家について多角的に調べ、音楽新聞を作成し発表する。
11 12	・近現代	<input type="checkbox"/> ○ドビュッシーの楽曲 <input type="checkbox"/> ○ラベルの楽曲 <input type="checkbox"/> ○富嶽三十六景 ※絵画セット使用	・ドビュッシーの曲を通して、印象派の音楽(光と色彩の音楽家と呼ばれる所以)について学ぶ。 ・ドビュッシーの楽曲から1曲選び、その曲想でイメージした絵を描き発表する。
1 2	・器楽演奏	※キーボード, ギター等の楽器使用	・グループ又は個人で、音楽史と関連を持つ器楽曲を選択し練習する。
3	・器楽演奏会 ・まとめ		・練習の成果を発表する。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は以下の3つの観点をそれぞれA、B、Cの3段階で評価し、総括的に判断して5段階評価とする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育もうとしている。 ・感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。
評価方法	・定期考査 ・ワークシート ・実技テスト など	・活動の状況・様子 ・ワークシート ・レポート作成 ・発表 ・実技テスト など	・課題に取り組む態度 ・活動の状況・様子 ・ワークシート など

音楽理論

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 3 年次	必修・選択	選択

1. 学習目標

音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 音名・音の高さについて	音楽通論	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の心得や学習内容の確認をする。 ・音部記号・階名・音符・休符・拍子に関するプリント学習
5	音の長さや拍子について 変化記号	音楽通論 リズムアン サンプル曲 音楽理論	<ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符に関して学ぶ ・拍子に関して学び、指揮を振る等の活動を通して拍子感を感じ取る。 ・変化記号について学び、演奏に生かす。
6 ～ 7	コードの仕組み	音楽理論 カノン、翼を 下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・コード進行のパターンを学習し、実際にキーボードで演奏する。
9	伴奏付けをする	音楽理論 童謡	<ul style="list-style-type: none"> ・コードネームから、和音構成音を書き出し、その音の並びや長さを変化させて、伴奏付けを行う。メロディーの特徴からその曲に合う伴奏を考える。
10 ～ 11	メロディー製作	音楽理論	<ul style="list-style-type: none"> ・長音階、短音階、琉球音階について学ぶ。 ・コード進行を指定し、その構成音をベースに 8 小節程度のメロディーを制作する。
12 ～ 2	卒業ソングの演奏	個人の選択 曲	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で楽曲を決め、その曲のメロディーに伴奏を付け、演奏する。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は 3 つの観点から行い、学習の取り組み状況、実施課題進捗状況、学習プリント、期末考査、授業態度を総合的に判断して評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽に関する基礎的な理論について理解している。【知識】 理解したことを表現したり、楽譜に記譜する技能を身につけている。【技能】	音楽理論を表現や鑑賞に活用する思考力、判断力、表現力を身につけている。	音楽理論を表現や鑑賞、創作に生かそうと取り組んでいる。

器楽

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 1・2・3 年次	必修・選択	選択

1. 学習目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

- (1) 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、想像的な楽器表現をするために必要な技能を身につける。
- (2) 音楽生豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができる。
- (3) 音楽性豊かな表現を追求する態度を養い、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4 ～ 5	オリエンテーション ヴァイオリンに挑戦しよう	音階練習 「ドレミの歌」 「きらきら星」 「よろこびの歌」	・アンケートや授業の心得、音楽室の使用マナーを確認する。 ・ヴァイオリンの基本的な奏法を学習し演奏する。
6 ～ 9	鍵盤楽器を演奏しよう	基礎練習 「チューリップ」 「聖者の行進」 個人が選択した曲等	・楽譜の読み方を学習する。 ・鍵盤楽器の基本奏法を学習し、右手・左手・両手でそれぞれ練習する。 ・自由曲を選択し練習する。 ・発表会を実施する。
10 ～ 11	ギターを演奏しよう	「ジュピター」 「海の声」 「Happy Birthday to You」 「カントリーロード」 等	・ギターの基本的な奏法を身につける。 ・TAB譜の読み方を学習し、楽譜を読みながら演奏する能力を身につける。 ・コードを演奏する。
12	アンサンブルに取り組もう①	クリスマスソング	・各パートに分かれ、クリスマスコンサートに向けて練習を行う。
1 ～ 3	アンサンブルに取り組もう②	「パイレーツ オブ カリビアン」等	・各楽器の基本奏法を復習しながら練習を行い、合奏をする。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は3つの観点から行い、学習の取り組み状況、実施課題進捗状況、学習プリント、期末考査、授業態度を総合的に判断して評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによっ	音楽を形づくっている諸要素や要素同士の関連を知覚し、そ	主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。

<p>て生み出させる表現上の効果や、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性を理解している。【知識】</p> <ul style="list-style-type: none">・創意工夫を生かした独奏やアンサンブルなどの器楽表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。【技能】	<p>これらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。</p>	
---	--	--

器楽探究

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 3 年次	必修・選択	選択（学校設定科目）

1. 学習目標

器楽に関する専門的な学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	・音楽の基礎知識を確認しよう ・キーボードの基本をマスターしよう	「四季より 春」 「アヴィニヨンの橋の上で」他	・音楽の三要素を確認し、合奏に必要な基礎知識を学習する。 ・鍵盤楽器で独奏、合奏する。
5	・読譜力を高めよう	「スタンドバイミー」 「イエスタデイ」他	・楽曲構成を理解する。 ・音楽の構成・表現要素を理解する。
6	・弦楽器の基本奏法をマスターしよう	「ロング・ロング・アゴー」他	・弦楽器の基本奏法を身につける。
7	・弦楽器を工夫して演奏しよう	「星に願いを」 「カノン」他	・弦楽器の様々な奏法を身につけ、工夫して演奏する。
9	・アンサンブルに取り組もう	「メヌエット」 「ラヴァースコンチェルト」他	・原曲とアレンジ曲を比較して聴く。 ・各グループに分かれて演奏し、アンサンブルによる音の広がりを楽しむ。
10	・アンサンブルに取り組もう	「大きな古時計」 「ジュピター」他	・アンサンブル曲を発表する。
11	・打楽器アンサンブルに取り組む、表現を工夫して演奏しよう	「ボレロ」 「ウィリアムテル序曲」他	・さまざまな打楽器を活用したアンサンブルに取り組む。 ・表現方法を工夫して演奏する。
12	・発表会に向けての取り組み	各個人の選曲（自由曲）	・これまでの音楽活動をもとに、器楽アンサンブルによる表現の喜びを楽しむ。
1	・個人の発表会を行い、表現力と鑑賞力を高めよう	各個人の自由曲発表	・発表会に向けての練習を通し、個人の技術を高め、他の人の演奏を聴いて鑑賞力を高める。
2	発表会	各グループによる発表	・自分達の音楽表現を発表するとともに、他のグループの演奏を鑑賞する。

3	一年間のまとめ	復習とまとめ 合奏曲3曲	各楽器の基本奏法を習得し、演奏する
---	---------	-----------------	-------------------

3. 評価の観点及び評価方法

評価は4つの観点から行い、学習への取り組み、課題進捗状況、学習プリントの整理・記録、定期考査、実技テスト、授業態度等を総合的に判断して評価する。

関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
いろいろな楽器の特質や奏法、曲の構成及び曲想に関心を持ち、意欲的に器楽表現をしている	楽器固有の表現方法や美しさを感じ取って器楽表現を工夫している	楽器固有の表現方法で美しく器楽表現する技能を身につけている	さまざまな種類の音楽に興味関心を持ち、曲や演奏に対し根拠をもって評価しながら聴いている。

声楽

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 1～3 年次	必修・選択	選択
使用教材・副教材	つどい（九州高等学校音楽教育研究会） 他		

1. 目標

声楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 声を出してみよう 発声の仕方を学ぼう	校歌 翼をください 発声のドリル①	授業の心得、学習内容の確認 校歌を学び、発声練習の一貫とする。 発声のドリルを学ぶ。
5	声を出して表現しよう	発声のドリル② スマイル 糸 サンタルチア	発声のドリルを学ぶ。 顔の表情筋や響きを意識しながら歌う。
6 7	日本の四季を歌おう①	日本歌曲 四季の歌	歌詞の意味を理解し発音に気をつけて歌う。
9 10	日本の四季を歌おう②	日本歌曲 四季の歌	歌詞の意味を理解し発音に気をつけ、表情豊かに歌う。
11 12	アンサンブルに挑戦	Winding Road Oh Happy Day	正しい発声法への知識を深めながら、美しいハーモニーを作り上げる。
1	歌謡曲を歌おう	上を向いて歩こう パプリカ We will rock you	身体を使った音楽表現をしながらリズムに乗って歌う。
2	卒業の歌を歌う	3 年生が選んだ曲	歌詞を理解しながら、豊かな響きと表現で歌う。
3	合唱曲に挑戦 1 年間のまとめ	群青	合唱曲や既習曲を楽しみ、1 年間のしめくくりとする

3. 評価の観点及び評価方法

評価は以下の 3 つの観点から行い、学習の取り組み状況、課題進捗状況、学習プリント、定期考査、実技テストなどを総合的に判断して評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身につけている。 ・曲想と音楽の構造を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。 ・作品のよさや美しさを味わいながら表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。

声楽探究

教科	音楽	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 2・3 年次	必修・選択	選択（学校設定科目）
使用教材・副教材	つどい（九州高等学校音楽教育研究会） 他		

1. 目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

- (1) 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、個性豊かに歌唱表現をするために必要な技能を身につける。
- (2) 個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 音楽性豊かな表現を追求する態度を養い、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 発声 響く声で歌おう	校歌 発声のドリル①② 上を向いて歩こう ハナミズキ	授業の心得、学習内容の確認。 目的を明確にしながらか発声する 生徒に身近な曲を選択し、歌う楽しさを味わう。
5	ハーモニーを感じて 歌おう	夢の世界を With You Smile	各パートの響きに耳を傾けながら歌う。
6	イタリア歌曲に挑戦	Caro mio ben	イタリア語の正しい発音を学びながら、豊かな表現で歌う。
7	日本歌曲に挑戦	椰子の実 花	美しいメロディーと日本の言葉を味わいながら情緒豊かに歌う。
9 10	舞台芸術や音楽映画 の曲を歌おう。	Tomorrow、私のお 気に入り、On My Own 等	オペラやミュージカル、映画で中心となる曲を歌い、様々な音楽に触れる。前後のストーリーを理解し、その場面にふさわしい表現方法について考えながら歌う。
11 ～ 1	アンサンブルに挑戦	さびしいカシの木等	各パートの音程・音量・響きのバランスに注意し、テクニカルな歌唱法を学ぶ。
2 3	卒業の歌を歌おう	旅立ちの歌 Best Friend	卒業にふさわしい歌を選び、歌う。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は3つの観点から行い、学習の取り組み状況、実施課題進捗状況、学習プリント、期末考査、授業態度を総合的に判断して評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉の特性と曲集に応じた発声との関わり、また様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。【知識】	音楽を形づくっている諸要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したことと	主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。

<p>・創意工夫を生かした独唱やアンサンブルなどの歌唱表現をするために必要な発声、発音、身体の使い方などの技能を身につけている。【技能】</p>	<p>の関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。</p>	
--	---	--